

全建発第6-167号  
令和6年11月13日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会 長 大 石 久 和  
(公印省略)

第710回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）開催のご案内について

謹啓 本会事業について、平素よりご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、本協会では、標記建設技術講習会を別紙の通り開催いたします。

本講習会は、国土強靱化の取組、大規模地震への備え、災害情報からみた防災対策、国土交通省における災害応急対応および地方公共団体等への応急対応支援、大規模自然災害を被災した地方公共団体における初動対応と復旧・復興の取組、気候変動に備える治水対策などについて学ぶことを目的としています。

つきましては、貴協会の技術力研鑽の活動としてご活用いただきますようお願いいたします。

謹白

|  |
|--|
| (一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎<br>TEL 03-3585-4546 FAX03-3586-6640<br>MAIL kensyu@zenken.com |
|--|

全建発第6-168号  
令和6年11月13日

国土交通省地方整備局 企画部長 殿  
都道府県 建設関係部局長 殿  
市町村長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石久和  
(公印省略)

第710回建設技術講習会（災害に強い安全な国土づくり）  
開催のご案内について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本協会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約5.7万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした団体です。

本協会の講習会は、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、i-Construction とインフラ分野のDX、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と i-Construction の取組など、建設事業の実施に当たって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第710回建設技術講習会は、国土強靱化の取組、大規模地震への備え、災害情報からみた防災対策、国土交通省における災害応急対応および地方公共団体等への応急対応支援、大規模自然災害を被災した地方公共団体における初動対応と復旧・復興の取組、気候変動に備える治水対策などについて学ぶことを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴機関職員が参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

# 第710回建設技術講習会のポイント



## 国土強靱化の取組と大規模災害への対策を学ぶ

○開催日：令和7年1月15日（水）～1月17日（金）

○開催場所：静岡県静岡市

○テーマ：災害に強い安全な国土づくり

○主な講義内容

- ・全建 大石会長「日本の国家崩壊を防ぐために知るべきこと」
- ・名古屋大学 福和名誉教授「温故知新と居安思危で大規模地震を凌ぐ」
- ・静岡大学 牛山教授「(仮) 災害情報からみた防災対策」

○現場研修

- ・防潮堤の高さを活かした、民間施設と一体的な緑地整備

清水港海岸 官民連携による地震・津波・高潮対策事業 [静岡県]

- ・約50tのコンクリート製消波ブロックの製作ヤードを視察 富士海岸蒲原工区離岸堤工事 [中部地整]
- ・上流部の洪水を直接海へ放流する大規模放水路の整備 沼川新放水路（仮称）整備事業 [静岡県]

## 第710回建設技術講習会(災害に強い安全な国土づくり)概要 ～国土強靱化の取組と近年の大規模災害への防災・減災対策等の取組について学ぶ～

会場 …… グランシップ(交流ホール)  
〒422-8019 静岡市駿河区東静岡2-3-1 ☎054-203-5710

| (1日目)            | 開場11:40  | 令和7年1月15日(水)                      | (敬称略)                |
|------------------|--|-----------------------------------|----------------------|
| 12:40<br>} 13:00 | あいさつ   | 静岡県知事<br>静岡市長<br>(一社)全日本建設技術協会 会長 | 鈴木康友<br>難波喬司<br>大石久和 |
| 13:00<br>} 14:30 | 日本の国家崩壊を防ぐために知るべきこと  | (一社)全日本建設技術協会 会長                  | 大石久和                 |
| 14:40<br>} 15:40 | 国土強靱化の取組の推進について  | 内閣官房国土強靱化推進室参事官                   | 塩井直彦                 |
| 15:50<br>} 16:50 | 温故知新と居安思危で大規模地震を凌ぐ   | 名古屋大学名誉教授                         | 福和伸夫                 |
| 18:00<br>} 19:30 | 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」<希望者のみ><br>THE PENTHOUSE(ホテルシティオ静岡9F) |                                   |                      |
| (2日目)            | 開場 9:00  | 1月16日(木)                          | (敬称略)                |
| 9:40<br>} 10:40  | (仮) 災害情報からみた防災対策   | 静岡大学防災総合センター教授                    | 牛山素行                 |
| 10:50<br>} 11:50 | 近年の災害と国土交通省の対応(仮)  | 国土交通省水管理・国土保全局防災課<br>防災企画官        | 磯部良太                 |
| 13:00<br>} 14:00 | 令和6年7月豪雨における山形県の初動対応と復旧・復興の取組み                             | 山形県県土整備部砂防・災害対策課<br>課長補佐(事業担当)    | 川合伸幸                 |
| 14:10<br>} 14:30 | 【地域事業の紹介①】<br>静岡河川事務所における海岸事業について                          | 国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所<br>副所長        | 近藤浩市                 |
| 14:30<br>} 14:50 | 【地域事業の紹介②】清水港における津波対策の取組                                   | 静岡県交通基盤部港湾局港湾整備課<br>課長代理兼港湾環境班長   | 石倉俊彦                 |
| 14:50<br>} 15:10 | 【地域事業の紹介③】<br>静岡市における巴川流域治水の取組みについて                        | 静岡市建設局土木部河川課主幹                    | 鈴木 亘                 |
| 15:20<br>} 16:20 | 気候変動に備える治水対策の推進  | 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課<br>課長補佐       | 栗原太郎                 |
| 16:20<br>}       | 閉会のあいさつ  | 静岡県交通基盤部理事                        | 高梨記成                 |
| (3日目)            | 集合 8:10～   | 1月17日(金)                          | 【現場研修】               |

静岡駅南口 スルガ銀行 静岡南支店前(8:30)出発  
 → 清水港海岸 官民連携による地震・津波・高潮対策事業[静岡県] → 富士海岸蒲原工区日の出離岸堤工事[中部地整]  
 → 昼食(沼津市内) → 沼川新放水路(仮称)整備事業[静岡県]  
 → 三島駅前(15:30)着後解散/静岡駅南口(17:10)着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。  
 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

全建CPD(継続教育)制度：聴講8.5単位 / 現場1.25単位  
 CPDS認定(予定)プログラム：聴講\*\*ユニット / 現場3ユニット

## 第710回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1 清水港海岸 官民連携による地震・津波・高潮対策事業 [静岡県] …………… 静岡県静岡市清水区

- ・清水港日の出地区は清水港発祥の地であり、大型商業施設が立地し、海外からのクルーズ旅客の増加に伴い、国内外から多くの来訪者が訪れる場所である。
- ・当地区の防潮堤整備は、“みなと”と“まち”の利用の連続性や周辺景観との調和が課題とされていたことから、防潮堤の設計段階から官民が連携し協議を重ね、防潮堤の高さを活かした隣接する民間施設と一体的な緑地を整備。
- ・高低差を活かした緩やかな芝生緑地広場からは、クルーズ船寄港をはじめ港湾活動が一望できるとともに、清水港発祥の地を可視化、新たな富士山眺望の拠点が整備され、防潮堤整備を契機に景観に優れた市民の憩いや賑わいの場を創出。



### 2 富士海岸蒲原工区日の出離岸堤工事 [中部地整] …………… 静岡県富士市

- ・駿河湾は、河口の深さが2,500mに達する我が国でも最も深い湾であり、海底地形も駿河トラフと呼ばれ、非常に急峻な海底勾配となっているため、近年では外洋で発達した高波等の影響に伴い、沿岸漂砂の減少等により海岸侵食が進んでいる。
- ・そのため高波や海岸侵食に対する事業として、一級河川富士川（国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所が管理）河口西側に位置する富士海岸蒲原工区において、1個当たり約50tのコンクリート製消波ブロックを、富士市五貫島地先（今回の現場研修会場）で製作・積込・運搬（海上）し、静岡市清水区蒲原地先で据付する工事を、現在鋭意施工中である。



### 3 沼川新放水路（仮称）整備事業 [静岡県] …………… 静岡県沼津市

- ・一級河川富士川水系沼川流域は、富士山南麓の急峻な山地と排水困難な低平地からなる地形特性などにより、昭和49年7月の豪雨では床上浸水695戸、床下浸水1,369戸に及ぶ未曾有の被害が生じ、近年では令和3年7月や令和5年の台風第2号で浸水被害が発生している。
- ・平成24年に策定した「一級河川富士川水系富士山麓ブロック沼川河川整備計画」に基づき、年超過確率1/10規模の降雨による洪水に対して、流域内の浸水常襲地区における家屋浸水被害を概ね解消することを目標に、支川の高橋川を分流し、直接駿河湾に洪水を流す沼川新放水路（仮称）整備に着手した。
- ・これまで海岸部の国受託工事が完成し、現在、J R 東海道本線交差部等の函体工事を進めている。
- ・今後、国道1号交差部の橋梁架替や河道整備を行い、令和14年度の完成を目指す。



## 第710回建設技術講習会【聴講】について

1. 申込方法：以下の専用ページからお申し込みください  
[https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc\\_evt\\_reception/app/QG01189701](https://niccs.nishitetsutavel.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189701)  
 ※FAQ及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。  
 前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。  
 次頁7. お申し込み（入力内容）についてのご注意 もご確認ください。

2. 聴講料：以下の表を参考にご確認ください（金額は税込み）。

| 区分                  | 一般<br>(非会員)   | 会員      |               |         |
|---------------------|---------------|---------|---------------|---------|
|                     |               | 正会員     | 特別会員          | 賛助会員    |
| 通常料金                | 18,800円       | 13,700円 | 13,700円       | 13,700円 |
| 開催県内に勤務             | 13,700円<br>※3 | 2,100円  | 2,100円 ※<br>2 | —       |
| 開催県内の市町村に勤務※1       | 2,100円        | 0円      | —             | —       |
| 開催地区連合会管内の市町村に勤務 ※1 | 18,800円       | 2,100円  | —             | —       |
| 30歳未満               | 18,800円       | 2,100円  | —             | —       |
| 開催県内の学生             | 0円            | —       | —             | —       |

※1 政令市職員は対象外です

※2 特別会員は開催県内に勤務又は在住の方が対象です

※3 非会員は国・県・政令市に勤務の方のみが対象です

※一般(非会員)／会員の確認をしますので、お間違えのないようご注意ください。

3. 聴講料の振込  
 次の銀行口座にお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142  
 口座名義：シャ) ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

(お願い) お振込者名義(協会名等)の前に、開催回数「710」を付してください。  
 (例：「710サイタマケン」)  
 手続き上、不可能な場合は[kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com) まで振込日と名義をお知らせください。

なお、聴講料は原則、受付確認のメール受信後から開催前日までの間にお振り込みをしていただくようお願いいたします。

※振り込み後、銀行振込の控え等を [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com) へ送付してください。

※会場でのお支払いはご遠慮願います。

4. 申込締切：令和6年12月11日(水) 正午まで(必着)  
 ・締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。  
 ※聴講会場の定員に達した場合には、上記日時以前に募集を締め切る場合がございます。

5. 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス

Mail: [nishitetsu@zenken.com](mailto:nishitetsu@zenken.com) までご連絡ください。

なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

| 取 消 日       | 取 消 料        |
|-------------|--------------|
| 7 日 前 ～ 前 日 | 聴講料の 5 0 %   |
| 当 日         | 聴講料の 1 0 0 % |

講習会終了後、所属協会等の指定口座へ取消料及び振込手数料を差し引いた金額をご返金いたします。

なお、申込み以降に発生した災害対応業務に係る取消の場合は、取消日に関わらず全額（振込手数料は本会負担）をご返金いたします。

6. その他

- ・テキストは当日受付にてお渡しいたします。
- ・受講証は各日の講義終了後にお渡しいたします。
- ・参加者には、国内旅行傷害保険をお掛けいたします。ただし、開催 14 日前以降の申込み及び変更後の参加者については対象外となりますのでご了承ください。
- ・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。
- ・講習会情報については全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) をご覧ください。

7. お申し込み（入力内容）についてのご注意

**(以下の入力についての間違いが多くなっております)**

- ・「地方協会＊」欄は、プルダウンの 1) ～ 8) の中から、所属する地方協会等が所在する地区を1つ選択した後、次に表示されるプルダウンで所属機関名を選択してください。  
(所属機関が選択肢にない場合のみ、所在する都道府県を選択してください。)
- ・申込者と参加者が異なる場合は、「申込者名／参加者名」欄に表示されている「申込者名（漢字表記）」を「参加者名」に上書きしてください。また、「参加者名（カナ）」欄には参加者名をカタカナで入力ください。
- ・変更・取消の際は、必ず以下まで**メールにてご連絡**ください。  
Mail: [nishitetsu@zenken.com](mailto:nishitetsu@zenken.com)

8. お問合せ先

- ① 聴講・現場研修の内容等について  
(一社) 全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎  
TEL 03-3585-4546 E-MAIL [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)  
登録番号：T4010405000433
- ② 現場研修の申込み  
「第 7 1 0 回建設技術講習会【現場研修】について」に記載しています。
- ③ 宿泊斡旋の申込み  
「宿泊斡旋のご案内」に記載しています。

## 第710回建設技術講習会【現場研修】について

1. 日程：令和7年1月17日（金）8:30～17:10  
集合（乗車）8:10～  
静岡駅南口 スルガ銀行 静岡南支店前（8:30）出発  
→ 清水港海岸 官民連携による地震・津波・高潮対策事業 [静岡県]  
→ 富士海岸蒲原工区離岸堤工事 [中部地整]  
→ 昼食（沼津市内）  
→ 沼川新放水路（仮称）整備事業 [静岡県]  
→ 三島駅前（15:30）着後解散／静岡駅南口（17:10）着後解散  
※現場研修のみの参加はできません。  
※上記行程は都合により変更となる場合があります。
2. 添乗員：（一社）全日本建設技術協会 事務局員及び西鉄旅行(株)添乗員
3. 現場研修料：10,400円（税込）  
※昼食の費用は含まれておりません（各自で自由昼食となります）。
4. 申込方法：聴講とあわせて、以下の専用ページからお申し込みください。  
[https://niccs.nishitetsutrans.com/ntc\\_evt\\_reception/app/QG01189701](https://niccs.nishitetsutrans.com/ntc_evt_reception/app/QG01189701)  
※FAQ及び専用ページ内の「操作方法のご案内」をお読みください。  
前開催から操作方法の変更がある場合がありますので必ずご確認ください。  
特に、現場研修料のお支払い方法については、  
「操作方法のご案内」P15～24を必ずご確認ください。
5. 申込締切：令和6年12月11日（水）正午まで（必着）  
・締切日時以降に行われたお申し込みは受理できない場合がありますので、  
お申し込み前に必ずご相談の連絡をお願いいたします。
6. 変更・取消：全建・西鉄旅行 共用アドレス  
Mail: [nishitetsu@zenken.com](mailto:nishitetsu@zenken.com) までご連絡ください。  
なお、取消の場合は以下の取消料が生じます。

| 取 消 日       | 取 消 料       |
|-------------|-------------|
| 10日前～8日前    | 現場研修料の 20%  |
| 7日前～前々日     | 現場研修料の 30%  |
| 前日          | 現場研修料の 40%  |
| 当日          | 現場研修料の 50%  |
| 無連絡不参加及び開始後 | 現場研修料の 100% |

7. 現場研修申込についてのお問合せ：西鉄旅行（株）全建担当デスク  
Mail: zenken@nnr-g.com TEL 03-6742-0325
8. 現場研修の内容等のお問合せ：（一社）全日本建設技術協会 事業課 杉戸、黒崎  
Mail: kensyu@zenken.com TEL 03-3585-4546
9. 旅行企画実施：西鉄旅行（株）東京団体支店  
東京都港区東新橋1-8-3 汐留エッジ8階  
TEL 03-6742-0325 FAX 03-6742-0328 MAIL zenken@nnr-g.com  
登録番号：T2290001009530  
観光庁長官登録旅行業第579号 （一社）日本旅行協会正会員
10. その他：  
・ヘルメットの持参は不要です。必要な現場がある場合には全建にてご用意いたします。  
・視察資料は現場研修の当日、集合場所にてお渡しいたします。  
・参加証は全行程の終了後にお渡しいたします。  
・参加者には国内旅行傷害保険をお掛けいたします。  
・事故防止のため、自家用車での参加はご遠慮願います。  
・詳しい取引条件を説明した書面を事前にご確認の上お申込み下さい。

## 全建講習会 お申し込み方法について（FAQ）

## ●操作方法を教えてください

基本的な操作方法是、申し込みページのマニュアルをご覧ください。

ご不明な点は、西鉄旅行 全建デスク [zenken@nnr-g.com](mailto:zenken@nnr-g.com) までお問い合わせください。

## ●システムにアクセスできません／あるページから先に進めません

ご利用環境のセキュリティの問題の可能性があります。可能であればセキュリティレベルを下げる、外部接続可能な端末からアクセスする等の対応をお試してください。

## ●聴講の申込をしたのに、メールでは支払い金額が0円となっているのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

## ●画面上で表示される「お支払い金額」に聴講料が含まれていないのはなぜですか

システム上は現場研修料の支払い金額のみ表示されます。聴講料は選択した区分の金額を全建へお支払いください。（参照：第000回建設技術講習会【聴講】について）

## ●複数名の申し込みはできますか

地方協会事務局や1名の方が代表してお申込みいただくことが可能です。

1名分の申し込みの後に、ユーザ情報登録確認メールに記載のURL、パスワードを使用してログインし、「新規申込み」を選択すると、複数名の追加申し込みをすることが可能です。

1つのメールアドレスでの申し込みが可能です。申込確認メール等は人数分送信されます。

## ●職場に個人用メールアドレスがなくても申し込みできますか

個人メールアドレスがない方は、所属先メールアドレス等での申し込みも可能ですが、自動返信される申込確認メール等が他の方に閲覧される可能性があることをご留意ください。私用のメールアドレス及び端末の利用もご検討ください。

## ●申し込み内容の変更・取消をしたい場合はどうすればよいですか

[nishitetsu@zenken.com](mailto:nishitetsu@zenken.com)（全建・西鉄旅行 共用アドレス）までご連絡ください。

開催直前などお急ぎの場合は、まずは西鉄旅行 全建デスク（tel.03-6742-0325）へお電話をお願いいたします。

## ●現場研修の支払い方法はどのようなものがありますか

銀行振込・クレジットカード払い・コンビニ払いが可能です。

クレジットカード払い・コンビニ払いの場合は、申込者の手数料のご負担はありません。

●支払い方法について相談させてください

以下までご連絡ください。

聴講料：全建 事業課 [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

現場研修料：西鉄旅行 全建デスク [zenken@nnr-g.com](mailto:zenken@nnr-g.com) (tel. 03-6742-0325)

●宿泊の斡旋はどこから申し込みできますか

開催案内ページ内の「宿泊斡旋のご案内」から、西鉄旅行㈱へお申し込みください。

●交流会の参加費はいつどこで支払えばいいですか

現地で聴講の受付時、現金でお支払いいただきます。できるだけお釣りの出ないようにご協力をお願いいたします。

●自分の協会からの参加者を確認するにはどうすればいいですか

お手数ですが全建 事業課 [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com) まで、必要の都度ご連絡ください。

【講習会会場及び現場研修集合場所等 案内図】



## 第710回建設技術講習会に参加の皆様へ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します！



(一社)全日本建設技術協会の建設技術講習会・実地研修会は、全国から多くの方々にご参加いただいています。この機会を、参加者同士が交流を図り、意見交換・情報交換を行うことで知見と人脈を広げ、今後の業務に役立てていただくため、必要とされる感染防止措置を講じた上で、「参加者同士の交流会」を開催する予定です。

この交流会は、講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流を図る場でもあります。ぜひ、皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：令和7年1月15日(水) 18:00～19:30(予定)

**場所**：THE PENTHOUSE (ホテルシティオ静岡9F)  
(会場及び現場研修集合場所案内図 参照)

**会費**：2,000円  
(受付時にお支払いください)

※都合により、開催を中止とする場合があります。

※参加希望人数によって、開催を中止とする場合があります。

※開催時間は変更になることがありますので、開催当日にご案内いたします。

※参加希望の方は、申込ページの「交流会」欄の「参加する」を選択して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※服装は特に問いません。



### 1. 研修会の参加者同士の交流促進を図る

①参加者の知見と人脈を広げる(名刺交換) ②意見交換・情報交換

### 2. 参加者と講師との交流・懇談

①講師との交流 ②質疑応答など

・参加予定の講師：名古屋大学名誉教授 福和氏、全建会長 大石

※都合により変更になる場合があります。

<問合せ> (一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当

TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

## 宿泊斡旋のご案内

参加者には、西鉄旅行㈱が開催地ホテルへの宿泊斡旋をいたします。  
講習会参加のお申し込みと併せて、下記ページからお申し込みください。

[https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc\\_evt\\_reception/app/QG01189702](https://niccs.nishitetsutransport.jp/ntc_evt_reception/app/QG01189702)

お問い合わせ先：西鉄旅行（株）東京団体支店  
全建担当デスク  
Mail：zenken@nnr-g.com  
TEL：03-6742-0325

申込み後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。